

学習内容報告書 フォーマット

学校名	宿毛市立咸陽小学校
授業者	安田 政司

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「ぼくらは海の探検隊」～ぼくらの遊び場 宿毛湾～

1-2. 学年

第3学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

3年生においては、「海に親しむ」をテーマとして、子ども達と海を結び付ける活動を中心に単元を構成していった。学校のすぐ近くにある新港の干潟の生き物調査を通して、身近にある海には山や川と同じようにいろいろな生き物が生息し私たちと共に生きていることを知った。また、専門家を招いて生き物について解説をしてもらい、生き物に触れる活動を行うことで生き物に関する知識を深め「海」に対して親しみや関心をもたせた。また、ヒラメの放流体験等を行うことで、5年生の社会科の単元にある育てる漁業について目を向けさせた。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

宿毛湾での磯遊びを行ったり、磯に生息する生きものを探究的に調べる活動を通して、郷土（ここ）にある海の素晴らしさを実感したり親しみをもったりするとともに、課題解決に向けて必要な情報を収集し、必要に応じて比較・分類したり多面的に考える力を育て地域の海や自然に関心を持って関わろうとする態度を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 【知識・技能】宿毛湾に生息する生きものや、それを育む海の素晴らしさを理解する。
- 【思考・判断・表現】◆宿毛湾・咸陽地域の干潟の生きものについての課題を設定し追究している。
◆様々な工夫を用いて、相手に分かりやすくまとめようとしている。
- 【主体的に取り組む態度】課題解決に向けて友だちと協働して探究活動に取り組んでいる。

1-7. 単元の展開（全70時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
10	<ul style="list-style-type: none"> ○宿毛湾の磯（新港公園横の磯）で遊んでみよう。 ○宿毛湾にはたくさんの海の生き物がいたね。 ○地域の方は、宿毛湾の生き物をどれくらい知っているのかな。 ○宿毛湾にいる生き物をみんなに知って欲しいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○宿毛新港となりの干潟で行う。 ○安全の指導を徹底する。
10	<p style="text-align: center;">「ぼくらは海の探検隊」 ～ぼくらの遊び場 宿毛湾～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○もう一度、磯遊びをして生き物を捕まえてみよう。 ○宿毛湾に住む生き物について詳しく調べよう。 ○ヒラメの放流体験をしてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題設定を行う。 ○分からない事が多くあるため、再度調査を行わせる。 ○ヒラメの放流体験を通して、より宿毛湾について興味を持たせる。(ヒラメ1200匹放流) ○市水産課と連携
10	<ul style="list-style-type: none"> ○自分達の知らない生き物は専門家に聞いてみよう。 ○再調査をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○黒潮生物研究所と連携 中地シュウさん招聘 ○採集したものを分類調査する ○安全に気を付けさせる。
15	<ul style="list-style-type: none"> ○調べた生きものの生息を、比較したり、分類したりしてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○海の生きものハンドブック使用 ○PCを使って調べてみる。 ○現地で調べることができなかったものを再度学校で調べる。
20	<ul style="list-style-type: none"> ○調べた生きものについてまとめよう。 ・生きもの図鑑を作ろう。 ・パンフレットにしよう。 ○宿毛湾について詳しく知ろう。 ・漁業普及所 ・地域の漁師さんに聞いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図鑑、海の生きものハンドブック使用。 ○分からない事は中地さんに聞く。 ○漁業普及所指導員 中城さん招聘 ○地域の漁師 小嶋さん招聘 ○地域の漁業や宿毛湾の状況について聞く。
5	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な学習発表会で地域の人に伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一年間の学習を、地域や保護者の方に伝える。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

干潟の生きもの調査を行う活動を通して、干潟にはたくさんの生きものが生息していることに気がつくとともに、自分が知らなかった生きもの名前や生態について探究しようとする態度を養う。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 前回の干潟調査をふり返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none">・あまり生きものはいないと思っていたけどたくさんの生きものがいた。・かにやエビもいたよ。・かにでも種類が違っているようだ。・貝もたくさん種類があったけど名前が分からないね。 <p>2. 専門家と一緒に干潟の生きものの再調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・かにとか貝類が多いな。・魚が水たまりに取り残されている。・石の下にもたくさんいるよ。 <p>3. 採集した生きものを専門家と一緒に調べてみる。</p> <ul style="list-style-type: none">・干潟の水たまりには多くの生きものが集まって生息している。・ハンドブックには沢山の生きもの情報があるね。・載っていないものも多くあるね。・身近な干潟にはたくさんの生きものがあるんだね。 <p>4. 今日の活動をふり返る。</p>	<p>○干潟で遊んだ経験をもとに、そこで見つけた生きものを思い出させる。</p> <p>○今回、お世話になる黒潮生物研究所の中地シュウさんを紹介する。</p> <p>○安全に気を付ける事を確認する。</p> <p>○教師は児童の安全に気を付け、全体を常に確認する。</p> <p>○種類によって分類し、生きものハンドブックを使って採集した生きもの名前を調べる。</p> <p>★自分が分からなかった生きものについて専門家やハンドブックを使い調べることができているか。</p> <p>○今日の活動についての感想を発表する。</p> <p>○ワークシートは教室で記入させる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

3年生では、海に親しむをテーマに地域の干潟を利用し生きもの調査の活動を行ってきた。子供達にとっていつも身近にある海だが、そこで遊んだ子供は余り多くはなく、ましてやそこに多くの生きものが生息している事を知っている児童はすくなくかった。今回の活動を通して、身近な海に多くの生きものが生息して入ることを確認できた。調査活動として体験を繰り返すことで、初めは生きものを触ることが苦手だった児童も、最後には夢中になって生きものとふれあうことができた。また、大月町にある黒潮生物研究所との連携によって、より深い学習ができたと思っている。教師自身も知らないことが多く、地域の海の素晴らしさを見つめ直すよい機会となった。子供達の思いを中心に単元を構成したため、年度当初の計画とは少し違ってきてはいるが、海に親しみ地域の海の素晴らしさを実感する事はできたと感じている。

4. 今後の課題

単元の後半部分では、標本づくりを考えていたが、今年度は実践できなかつた。来年度に向け、もう一度単元構成を考えていく必要がある。また、天候等も影響するため、余裕もった計画づくりが必要である。3年生という学年を考え、情報発信の方法を検討していく必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

◆別紙添付の年度当初の計画とは少し違いがある。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。